

1歳 おめでとう!



氷川町に住む 4月に1歳になる  
アイドルをご紹介します!



10千10千拍手も上手、  
オシャベリも  
だあ〜い好き

いとう よしひろ  
伊藤 義博くん(新村)  
平成22年4月20日生まれ  
お父さん:和智さん お母さん:光江さん

ひかわっ子  
写真館



このコーナーでは、お子様の写真を紹介してくれる方を募集しています!  
詳しくは、P19 まちからのお知らせを御覧ください。次回は5月生まれのアイドルたちを紹介します!

# 町長伝言板

No.1

## 絆



東北地方太平洋沖地震により尊い命を亡くされた方々へ哀悼の意を表しますとともに、被災をされた皆さまへ心よりお見舞いを申し上げます。

映像で被災地の惨状を見て、胸が痛むと同時に自然災害の脅威を再認識いたしました。

そのような中であって、家族や友人の安否を気遣う人々の姿、避難所で励まし助け合う人々の姿、警察・消防・自衛隊や海外からの救助隊をはじめ、人命救助や災害復旧に活動される全ての皆さまの一生懸命な姿を目の当たりにして、人と人、地域と地域、国と国が支え合うことの大切さと「命の絆」を強く感じたところでもあります。

話題は変わりますが、去る二月に議員研修に同行させていただき、友好町の北海道大空町を訪問いたしました。

大空町とは本町の尾上宗一氏が、知り合いの子息を旧東藻琴村の牧場主に預けられたのをきっかけに、旧宮原町時代から交流が始まり、それぞれ合併後も「交流の絆」を引き継ぎ、現在も中学生の相互交流、東藻琴高校生徒の農業体験研修をはじめ、様々な交流が行われています。

また、研修では北竜町も訪問いたしました。

北竜町とは旧竜北町時代に、全国の竜・龍が市町名につく十四の市町村がドラゴンサミットと称して様々な交流を行っていたことから、親戚の家を訪れた感があり、旧交を温めることができました。

誠にも意義な研修であったと思います。

氷川町が誕生して六年目を迎えますが、ふるさと氷川町の発展に向けて、町民の皆さま一人ひとりの「心の絆」が更に深まることを願っています。

今月号より『ひとのうごき』は『まちからのお知らせ』(P20)に移動しました。

### 編集後記

3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生しました。目を疑うような自然災害の脅威にただただ驚き、恐怖を感じました。被災された方々のご苦労や、辛さを計り知ることはできません。そんな中、今、私たちに何ができるのかわかりませんが、しっかり考えて、一日でも早い復興の手助けが少しでもできればと思います。

卒業・入学のシーズンになりましたが、先日取材に行った卒業式では、多くの生徒が夢を語り、保護者への感謝を述べていました。これからの町を担う、彼らの姿に頼もしさを感じました。